

グリーン Green フィールド Field

【第5号】令和5年8月発行

年2回発行(8月、1月)

- 【1面】・自衛隊新卒合同企業説明会 【3面】・即応予備自衛官雇用企業の声
- 【2面】・退職自衛官の声
・援護課分室紹介
- 【4面】・企業への予備自制度説明
・援護広告

【お問い合わせ先】

退職自衛官(主に20才代、50才代)
の雇用に関するお問い合わせ … 援護課 011-631-5473
予備自衛官に関するお問い合わせ … 予備自衛官課 011-631-5474

令和5年度 自衛隊新卒合同企業説明会

～大盛況、引く手あまたの隊員達～

自衛隊札幌地方協力本部(本部長 佐藤和之、等陸佐)は、令和5年7月13日(木)札幌コンベンションセンターにおいて、札幌地本の総力を挙げて令和5年度自衛隊新卒合同企業説明会を実施した。

本説明会は、自衛隊援護協会の主催により、雇用企業が、令和6年9月までに任期満了予定の任期制隊員(主に20才代)を対象に企業説明及び質疑応答を行い、隊員の具体的な再就職準備を円滑にさせることを目的として、毎年、実施している。

今年度は、札幌地本管内外併せて123名の任期

制隊員及び道内外企業137社が参加。併せて、北海道警察、海上保安庁、矯正施設等の公募コーナー、ハローワークの相談コーナーの設置や企業説明会に参加できない企業パンフレットの情報提供等、隊員のニーズに対応した。また、退職予定隊員の予備自衛官等の募集につながるため、広報コーナーを3か所設置し、参加隊員のみならず、企業に対して本制度の理解を促進した。なお、求人倍率は約7.2倍で、改めて退職自衛官の人気、評価の高さが伺えた。

参加隊員は陸士就職指導教育で社会・労働情勢や職業選択に関する知識及び再就職に対する心構え等を習得し、企業説明会に万全を期して臨んでいた。

昨年度は、コロナ感染を防止するため、様々な制限を設けたが、今年度はコロナ前の要領で実施できた。

さらに、当日は、参加隊員の直接の上司である中隊長等が参加し、隊員への指導に当たった。また、北部方面總監、第7師団副師団長及び第11旅団副旅団長がそれぞれ視察し、現状を把握するとともに、参加隊員を激励した。

終了後、参加隊員からは、「希望する企業と面談し、就職のイメージができた」、「企業から具体的な内容を聞くことができ、再就職の参考となった」等、再就職に向けて前向きな感想が聞かれたほか、参加企業からは「説明において、参加隊員の就職に対する熱意を強く感じた」との声が聞かれた。

本説明会を機に任期制隊員の再就職活動が本格的に始動する。



本部長挨拶



予備自等制度説明



企業と面談



面談会場

自衛隊札幌地方協力本部公式 SNS

Twitter

Instagram

Facebook



札幌地本 SNS

自衛隊情報・イベント情報など
随時更新中!

公式HPも
よろしくモコ!!



札幌地本



退職自衛官 の声

株式会社 一条工務店
最終勤務部隊：第3即応機動連隊
第2普通科中隊



写真左：野村 和裕 様 中：斉藤 羅威 様 右：船越 裕晃 様

【斉藤 羅威 様】
私は祖父が大工業を営んでおり、小さい頃より祖父の大工仕事を手伝った経験から大工仕事に興味を持ち、家づくりをしている一条工務店に入社しました。
一条工務店では、現在大工仕事を学んでおり、会社や現場の雰囲気が高く指導し

ていただく先生も丁寧に分かりやすく教えてもらっています。
また、現場での自分達の働きを見てくれた施主様より「ありがたい。よろしくお願います」などの応援をいただくこともあり、今後もより一層、頑張りたいと思っております。

【野村 和裕 様】

一条工務店に入社して大工作業を学ぶ中で、最初は建築業界の知識や技術も全くない状態からスタートすることが不安でしたが、最初の1か月間は、本社にて基礎的な研修として道具の使い方、建築用語、一条工務店商品等を学び、現場に配属されてからも指導してくれる先生に丁寧に一から順を追って教えてもらい、少しずつ不安も解消され自信をつけてきています。
また、一条工務店の商品を知る中で、北海道の厳しい環境でも快適に過ごせる住宅性能の高さや、地震・水害などの災害に強い家づくりに携わっていることやりがいを感じています。

【船越 裕晃 様】

自衛隊で培った経験から、次の動きを常に考えながら行動することで、指導していただく先生が出す指示の意図をくみ取り、現場に必要な段取りにも活かされていきたいと思います。
今は一条工務店の大工仕事を基礎の基礎から学んでおりますが、将来的には、一条工務店の大工仕事を一人ですべてこなせるようになることが目標です。

その為に、一つ一つの技術をしっかりと身につけていき施工技術や知識を養い、お客様に心より満足していただける家づくりを目指して仲間と切磋琢磨し努力をしていきます。



上司からのメッセージ

株式会社 一条工務店

札幌太平洋展示場

工事長 八木沼 稔 様

本社での1か月間の基礎研修を終えて、現在は、現地の指導大工さんと4名で基礎から施工技術を学んでおります。
入社前は建築知識や経験が無

が活き活き現場で働いております。
今後の建築業界では職人の高齢化や若手不足により、3人は将来の建築現場を支える貴重な造り手となります。
しっかりと技術を身に付けることで本人たちにも一生の武器となりますのでこれからも引き続き大切に育成をしていきます。

人材を求める 企業や自治体 窓口に の皆様への

札幌地域援護センター岩見沢分室は、岩見沢駐屯地に所在し、自衛隊新卒者（主に20歳代中心）及び若年定年等退職者（50歳代）の就職の援助を行っています。

岩見沢市、三笠市の2市を担当し、自衛隊の退職者が兼ね備えている規律・責任感・忍耐力・実行力・団結力を活かして、地域に役立つ人材として雇用していただける企業と、再就職を希望する隊員双方の要望を叶えられるように、大雪をかき分け雪壁をのぼり、日々企業等を訪問し、自衛官の有用性及び雇用に関する説明等をさせていただいております。

退職自衛官の雇用に関して興味、検討及び人材のお求めがございましたら、お気軽に札幌地域援護セン



岩見沢分室

〒0126-2210 岩見沢分室までご連絡ください。

岩見沢市日の出4丁目313

岩見沢駐屯地内

0126-22-1001

(内線376又は377)



即応予備自衛官 雇用企業の声

社会福祉法人 札幌明啓院
施設長
相庭 晃 様



【制度の再認識】雇用するメリット】

当施設は、大正時代に設立され昭和、平成、そして令和へと創立103年を迎えた救護施設です。

介護施設などは、特別養護老人ホームなど馴染みがあると思いますが、救護施設とは生活保護法に基づく施設であり、入所される利用者には、障害を持つ方や地域生活移行のため一時的に生活の場を求めてくる人達、入居歴が長く施設を利用

されている方など様々な理由で入所生活を送られています。

入居利用者の定員(150名)に応じた職員種別配置基準数が決められており、入職された即応予備自衛官の雇用形態は、直接処遇が中心の「生活支援員」として配置されています。また、変則勤務の対応にて「24時間」「365日」日常の支援や介護を行っている部署となり、それぞれに役割分担をもち、利用者の担当制や宿直業務など多岐にわたり勤務対応して頂いております。

その中で生活支援員同士の連携やチームワークが生命線であり、また付け加えて介護職の技術習得意欲や利用者様への対応など指導支持に対して真摯に向き合う姿勢は見習うべきことも多く感じています。

訓練参加(複数人入職のため)などで配慮していることは、シフト作成で重複しないよう、勤務配慮をさせていただいています。

即応予備自衛官に今後求めることは、様々な対象利用者様への介護や支援に日々苦勞されているところではあります。絶えず「一人ひとりの生活を支援する」を忘れずに勤務して頂ければと思います。



【予備自衛官等制度内容 (給付金、協力事業所表示制度)】

予備自衛官等制度とは、普段は社会人として企業に勤務しながら、年間で定められた日数の訓練に参加し、有事においては招集され自衛官となり、国防や災害派遣などの任務に就く制度です。

制度を円滑に運営するためには、企業等のご理解とご協力が必要不可欠です。そのため、国では予備自衛官等を雇用している企業を支える各種制度があります。

その1つに、即応予備自衛官雇用企業給付金という制度があります。これは、即応予備自衛官が訓練及び災害等招集にいつでも出頭できる環境を整えていただくため、雇用企業に給付金が支払われる制度です。要件を満たせば、即応予備自衛官1人に対し月額42,500円(年額510,000円)が企業へ支払われます。

そのほかにも状況に応じた給付金制度があり、幅広く企業をサポートできる体制を整えています。

また、予備自衛官等協力事業所表示制度については、事業所が予備自衛官等の雇用を通じ、社会貢献を果たしていることを防衛省として認定・称揚することで制度に対する社会的な関心・

理解を深め、同制度の円滑な運営に資することを目的としています。地本長認定協力事業所と大臣認定協力事業所の2種類があり、企業は希望により防衛省ホームページに掲載されるほか、認定証の盾が贈られます。

防衛省・自衛隊ではこのような制度により企業の負担を軽減しつつ、予備自衛官等と雇用企業がより良い関係を構築できるよう目指しています。

【個人様向け】 予備自衛官等募集中！！

いざという時、常備自衛官と共に国防・地域社会に貢献

即応予備自衛官

有事の際、ますますの活躍に期待！
後方支援が主任務

予備自衛官

自衛官未経験者の方も即自・予備自志願可能

予備自衛官補

【企業様向け】 予備自衛官等雇用企業募集中！！

平常の雇用と、もしもの時の負担を支える

充実の各種支援制度

防衛省

予備自衛官等雇用を通じて社会貢献&職場の活性化！

**国防・地域社会への貢献、
企業のイメージアップ**

即戦力!

国防から企業を支える力へ!

自衛隊は、精強性を維持するため、自衛官には特別な退職管理制度があり、50代半ば(若年定年制)と、20代(任期制)で退職を迎えます。しかしながら、50代はまだまだ働き盛りですし、若い隊員も教育と部隊勤務により**社会人として必要な能力**が身につけております。彼らの**資質と能力**はいずれの分野でも**企業様のお力**になります。

忍耐力
実行力 **団結心**
技術 **精神力**
協調性 **責任感**
リーダーシップ





お問い合わせお待ちしております! 気軽に援護課011-631-5473へ!

自衛隊札幌地方協力本部とは

石狩・空知(南部)・後志・胆振・日高の5つの振興局において64市町村を管轄しており、地方自治体や地域の皆様との窓口となる組織です。自衛官の募集・採用業務、退職予定自衛官の再就職支援、予備自衛官に関する業務、自治体等との連絡調整、自衛隊の広報を主な業務として行っております。

札幌地本<再就職支援・予備自衛官情報>広報紙

グリーン フィールド

「Green Field」

お楽しみに!

次号は 令和6年1月発行

「予備自衛官の活躍」

「退職自衛官の声」「予備自衛官の声」を掲載予定です。

グリーン フィールド
 「Green Field」は
 札幌地本ホームページで
 ご覧になれます。



【ホームページ】



【Twitter】



【Facebook】



【Instagram】